

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 多様な進路選択に対応できる教育課程の工夫を重ね、幅広い生徒の学習希望に応えられるように学習機会を提供する。 思考力・判断力・表現力等の能力向上につながる授業の研究を進める。 学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい大学入試制度を見据え、生徒が主体的に学ぶ態度を育むとともに、授業外での学習習慣の定着を図る。 組織的な授業改善に取り組み、教材の共有化や70%以上の試験問題の共通化を図る。 生徒が自主的・主体的に企画・運営に取り組む学校行事を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業見学を励行し、他の教員と自身の授業の進め方を比較する中で、改善点を明らかにする。 曜日による授業回数の差を極力減らすことに務め、試験範囲の共通化に寄与する。 試験問題の共通化を進めるため、同じ科目の担当者間の意思疎通の機会を増やす。 学校行事において、本部役員、実行委員、応援団等と密に意見交換し、自主的主体的運営を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価の項目別評価 魅力と特色ある県立高校づくりのアンケート結果 曜日ごとの授業回数 試験問題の共通化率 各行事における生徒アンケート結果 					
2 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナーを意識した学校生活を送れるよう支援するとともに、教育相談体制の充実をはかる。 部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の規範意識を醸成するとともに、基本的な生活習慣の確立を目指す。 組織的な教育相談体制を構築し、必要に応じてケース会議開催し情報の共有化を図る。 生徒が主体的に活動する部活動の運営を目指す。 健康で心豊かな人間性を養い、思いやりのある人間を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・頭髪・服装の日常的な指導に加え、携帯電話教室・自転車教室・薬物乱用防止教室などを実施していく。 各学年の教育相談担当を中心に生徒の情報の共有化に努める。 生徒会オリエンテーション、スタンプラリー、部活相談会等を通じて、部活動への積極的参加を呼びかける。 地域連携Gと協働し、部活動の積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導の対象となる生徒数、及び交通事故の発生件数 教育相談の件数とケース会議の開催回数 部活動への加入率 魅力と特色ある県立高校づくりのアンケート結果 地域行事への参加状況 					
3 進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解を深め、進路意識を向上させて、生徒一人ひとりが自らの進路希望を実現できる進路指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来を考えさせるキャリア教育を実践し、目標を設定させ、その実現に向けての支援を行っていく。 進学実績や生徒の満足感を検証し、進路指導・支援体制を検証していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間に段階的に沿って計画的に進路オリエンテーション、進路講演会などを実施する。 補習、模擬面接、論文作成の指導、進路相談等、指導・相談・支援体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中堅大学への現役合格者数 進路結果に対しての生徒の満足度 魅力と特色ある県立高校づくりのアンケート結果 					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 「篠原・岸根地区地域交流教育推進会」の教育力を活かし、異校種・異年齢との交流を通じて、自己有用感や社会性の育成をはかる。 コミュニティ・スクールとして、地域に開かれ地域と共にある学校づくりに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域との協働を通して、生徒の社会性を育むとともに、地域に根ざした学校づくりに取り組む。 教育活動に保護者にも協力を頂くとともに、PTA活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の反省を踏まえ、実習・交流活動についての事前指導をいっそう丁寧に行う。 地域連携委員を、より活発に動かすために計画的に募集・活動告知を行う。 PTAとの連絡を密にし、生徒や地域、又会員にとってより良い活動となるよう協働する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育実習ノート、クラブ交流振り返りアンケート結果 すこやかサークル定例会における活動のまとめ 学校評価部会による評価 魅力と特色ある県立高校づくりのアンケート結果 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境の変化に伴って発生した課題を適切に認識し、その解決に取り組むような学校文化の形成を図る。 コミュニティ・スクール導入に対応し、学校運営協議会評価部会の、有効な運営をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の安全点検を行い、安全で安心して学校生活を送れる環境を整備する。 職員に対して、サービスや会計に関する研修を行い、事故防止に努めていく。 学校運営協議会からの助言や意見を、学校経営の参考とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の現況を精密に調査し、計画的な整備改善を進めていく。 教育活動に有効かつ適切な会計処理に努めると同時に、職場全体での事故防止意識の向上を図るため効果的な研修を実施する。 評価委員等外部の方との連携をより密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の調査回数、及びその結果整備改善が進んだ件数 事故防止に関する研修会の開催回数 外部の方からの助言や意見を反映させた件数 					